

ADASTRIA

<http://www.adastria.co.jp/>

INTERIM REPORT 2015

第65期 中間報告書 2014.3.1~2014.8.31



**PROJECT-
With the Earth**

この冊子の印刷・製本に係るCO₂は
PROJECT- With the Earth を
通じてオフセット(相殺)しています。

株式会社アダストリアホールディングス [証券コード:2685]
〒100-6610 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー 10F
Tel. 03-6895-6000(代表) Fax. 03-6895-6080



代表取締役社長 遠藤 洋一

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社の第65期上期(2014年3月1日から2014年8月31日まで)における事業のご報告をするにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

統合効果の早期発現による業績向上が喫緊の課題

当社グループの上期の業績は、トリニティアーツの新規連結効果のほか、グローバルワーク、レプシムローリーズファームが好調に推移し、売上高が880億51百万円(前年同期比38.1%増)と大きく伸長した一方、利益面では、国内外における売上総利益率の低下、トリニティアーツの新規連結に伴うのれん償却額の計上や積極的な広告宣伝の展開等による販管費率の上昇により、営業利益20億38百万円(同45.9%減)、経常利益21億74百万円(同45.4%減)、純利益1億9百万円(同94.8%減)となりました。なお、実態的な収益力を表す指標として当社が重視しているEBITDA※は前年同期比0.4%増の微増となっています。

※[EBITDA] 営業利益+減価償却費+のれん償却額

2013年9月の経営統合により、グループ全体としての事業領域が大きく拡大し、顧客層の拡大を図ることができたものの、バリューチェーンの最適化に時間を要したことや、経費増加等から、収益面での成果を十分に上げることができておりません。商品力に直結するバリューチェーンと利益構造を早急に見直し、今後の成長に向けたブランド戦略の再構築が喫緊の課題であると認識しております。

さらなる企業価値の向上を図り、次期中期経営計画における飛躍につなげる

下期はブランド戦略、海外戦略の再構築、商品・ビジネスモデルの差別化、グループシナジーの追求という4つの方針に注力し、事業を推進してまいります。

ブランド戦略としては、各ブランドの競争力・成長ポテンシャルを徹底的に分析し、それぞれの役割に応じた戦略、投資を行ってまいります。

業況が厳しくなっている海外事業については、不採算店舗の整理や出店戦略、商品戦略を見直し、2016年2月期における黒字化を目指します。

また、商品・ビジネスモデルの差別化のため、自社生産の取り組みを進めてまいりましたが、ブランドの特性に応じて主要取引先との協働も併せて進め、競争優位性を高めるモデルを追求してまいります。

さらに、2015年3月にアダストリアホールディングス、ポイント、トリニティアーツを統合することといたしました。ブランドの差別化と成長戦略実行に経営資源を集中することで、さらなるグループシナジーを追求し、企業価値の向上を図る所存です。

当社グループは、上記4つの方針に基づき、様々な施策に全社員の力を結集して業績の向上に努めるとともに、その流れを来期からスタートさせる予定の次期中期経営計画における飛躍へと着実につなげてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2015年2月期 上期の取り組み

■ ポイント

- ・営業組織を再編し、各本部長の下に権限と責任を集中させるとともに、主要ブランドにはディレクター・チーフMDを配置する体制を基本としました。
- ・グローバルワークは20周年を迎え、海外展開を見据えたリブランディングと、TVCM・記念イベントなどのプロモーション強化が奏功し、全社売上を牽引しました。(➡P6、P9参照)
- ・前期にリブランディングに成功したレプシムローリーズファームも、引き続き大幅増収を達成しました。(➡P6参照)
- ・WEB売上は自社サイトが好調に推移し、二桁増収が継続しています。

■ トリニティアーツ

- ・ニコアンドとスタディオクリップはさらなる認知度アップを目指し、3月から新TVCMを放映しました。積極出店の効果もあって、今上期も大幅増収となりました。(➡P10参照)
- ・スタディオクリップではベーカリーカフェ併設店舗など、新たな取り組みにチャレンジしています。(➡P6参照)

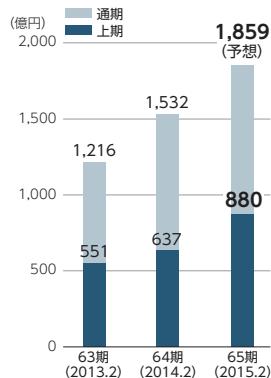
■ 海外事業

- ・海外で5番目の地域となる、韓国に進出しました。7月にニコアンド、8月にはローリーズファームが outlets し、今期中に合計7店舗となる予定です。さらに、韓国向けオンラインストアも開設し、韓国市場でのブランド認知度向上を図っています。(➡P7参照)

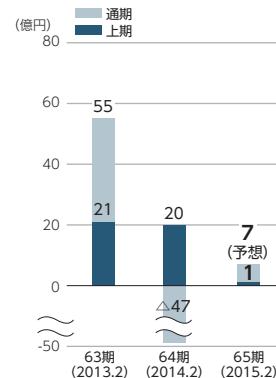
■ 自社生産の進展

- ・上期の自社生産比率は約4割となりました。
- ・課題であったN9&PGの生産部門の損益も、大幅に改善することができました。

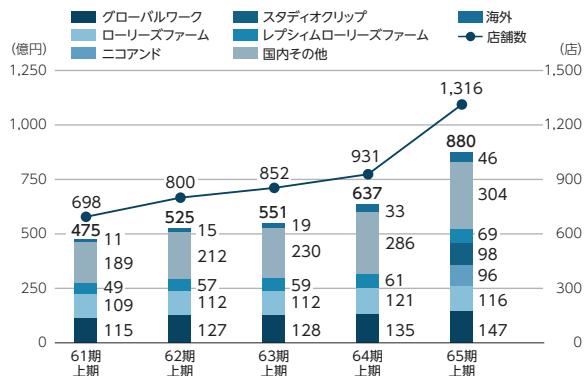
■ 売上高



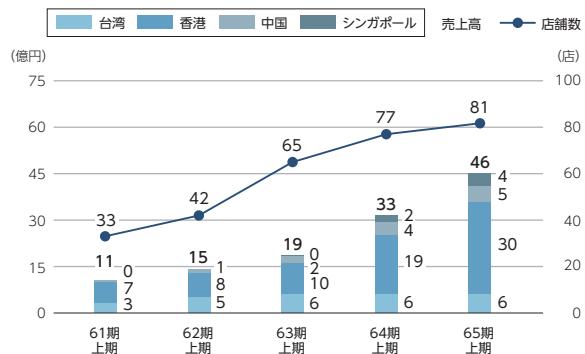
■ 当期純利益



■ 店舗数およびブランド別売上高の推移 (国内・海外連結)



■ 海外売上高と店舗数の推移

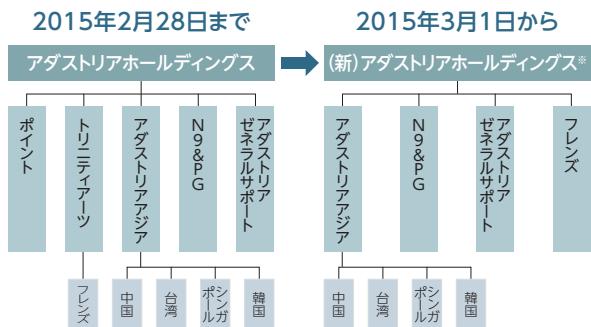


ポイント、トリニティアーツとの 合併を決定

当社は、2015年3月1日付で、株式会社アダストリアホールディングスと、株式会社ポイント、株式会社トリニティアーツの3社を合併することを決定しました。

2013年9月の経営統合から約1年が経過し、各社の企業文化の相互理解と諸制度の統合が進み、またグループ全体としての品揃えが充実した結果、顧客層の拡大を図ることができました。その一方で、商品企画精度の不足や経費の増加等により、収益面における成果が十分に発揮されているとはいえない状況です。そのため、統合のメリットを十分に活かすには、さらなる組織再編が必要であるとの判断に至り、当社の主要な事業主体である小売2社と合併することとしました。

本合併により、経営効率化と意思決定の迅速化を図り、さらなる企業価値向上につなげてまいります。



*2015年5月の株主総会にて社名を株式会社アダストリアに変更する予定です。

目的

- 商品企画力の向上
- 店舗配置の最適化
- 意思決定スピードアップ
- 間接部門の経費削減
- 効果的な広告宣伝政策
- 仕入・物流体制の一層の合理化

BRAND

[ブランド]

1 グローバルワーク、レプシム ローリーズファームが好調に推移

グローバルワークは20周年を迎え、高いファッション感度を重視しつつ、その価値を日本から世界へ発信する世界展開ブランドとしてさらなる飛躍を目指し、TVCM・記念イベントなどのプロモーションを強化したことから、全社売上を牽引しました。また、レプシムローリーズファームも、前期の秋冬シーズンにそれまでのナチュラルテイストからシンプルでクリーンな印象へとリブランディングが成功し、商品ラインアップを変更したことから、今上期好調に推移しています。



グローバルワーク おのだサンパーク店

2 ベーカリーカフェ併設店や書店との コラボレーション店舗など、新たなチャレンジを推進

スタディオクリップは、2014年4月、ゆめタウン広島にベーカリーカフェ併設店をオープンしました。オリジナルブレンドのフレッシュハーブティーや、選べる紅茶メニューと手作りアップルパイなどをご提供しています。また、5月にはニコアンドが書店とコラボレーションした、ブック&カフェスペース併設店舗を金沢フォアラスにオープンしました。シーズンテーマに沿った書籍や雑誌と、バリエーション豊かな本格コーヒーをお楽しみいただけます。こだわりの1杯を片手に、店内で自由にショッピングを楽しむ新しいお買い物スタイルをご提案しています。



スタディオクリップ ゆめタウン広島店

GLOBAL

[海外展開]

1 韓国への出店スタート 1号店はニコアンド江南店

ニコアンドは、2014年7月に韓国・ソウルの流行発信地として有名な江南(カンナム)に旗艦店をオープンしました。ニコアンド江南店はカフェスペースを併設し、メンズ・レディースのアパレル、雑貨、家具、飲食のフルラインアップの展開で、ニコアンドの世界観を存分にお楽しみいただけます。8月には、ローリーズファームの韓国1号店をソウル・新村(シンチョン)に、2号店を弘大(ホンデ)にオープンしました。どちらも、若者文化の中心地として人気のエリアです。

当社は東アジアを海外戦略における重要マーケットの一つと位置付け、韓国の若者が注目するエリアへの出店により、韓国市場でのブランド認知度向上を図ってまいります。



ニコアンド 江南店

2 韓国におけるオンラインストアを開設

ニコアンドとローリーズファームは、韓国への出店に併せ、オンラインストアをオープンしました。韓国・日本両国のショップスタッフによる最新コーディネートや、オススメ商品ピックアップ、SNS連動キャンペーンなど、様々なコンテンツを展開しています。

世界でもトップ水準のインターネット普及率を誇る、インターネットショッピング先進国の韓国において、WEBとリアル店舗の両方から、さらに多くのお客様にブランドの世界観をお届けします。

WEB

[ウェブ]

1 ポイント、トリニティアーツのWEBストア およびポイントサービスを統合

2014年11月、ポイント、トリニティアーツがそれぞれ展開する自社WEBストアを統合し、「[.st](ドットエスティー)」として全面リニューアルします。同時に、両社のポイントサービスを、新ポイントサービス「[.st[id](ドットエスティーアイディー)」として統合します。

現在、ポイントの自社ポイントサービス「collect point MEMBERS」は約230万人、トリニティアーツの「ニコアンド」「スタディオクリップ」のWEBストアは約30万人のお客様に会員登録をいただいています。この統合により、1つのサイトで両社20ブランドのお買い物をお楽しみいただけるようになります。WEBストアと両社ブランド店舗の双方で、共通のポイントが使用可能となることで、グループのオムニチャネル化をさらに促進してまいります。



WEBストア イメージ

2 人気ブランドのショップスタッフが ファッションの悩みを解決する 新サービス「Q&A Community」がスタート

2014年5月、新しいコミュニティーサイト「Q&A Community(キューアンドエーコミュニティー)」を開設しました。

この「Q&A Community」は、お客様から寄せられたファッションに関する質問に、ショップスタッフがお答えし、コーディネート提案をするサイトです。さらに、おすすめアイテムがすぐに購入できるほか、モデルやタレント、ブランドプレスに質問できるなど、お客様におしゃれを楽しんでいただけるサービスが満載のサイトになっています。



PROMOTION

[プロモーション]

1 グローバルワーク20周年 メディアミックスによるプロモーションを展開

グローバルワークは、2014年春に20周年を迎えました。日本から世界へ発信する世界展開ブランドとしての飛躍を目指し、同じように日本から世界へ歩みを進める人々『世界人』に焦点をあてたキャンペーンを実施。ブランドパートナーに国内外で活躍する大沢たかお(おおさわ たかお)さんと、長澤まさみ(ながさわ まさみ)さんを迎え、メディアミックスによるプロモーションを展開しました。



■ プロモーション概要

① 新TVCMを公開

大沢たかおさんと長澤まさみさんを起用した新TVCM「フク、フク フク 出会い」篇・「フク、フクフク 世界人」篇を全国でオンエア。

② BSミニ番組「世界人」を放送

世界を舞台に活躍する「世界人」を紹介するミニ番組「世界人」をBS-TBSにて放送。

③ キャンペーンコミュニケーションサイトをオープン

TVCMの特別編集版や、BSミニ番組「世界人」のアーカイブ映像を公開。その他、出演者へのインタビューなど、キャンペーンサイト限定のスペシャルコンテンツを掲載しています。

④ ローンチイベントを5月22日に開催

20周年を機に、新たに歩み始めるブランドの旅立ちを祝し、ブランドパートナーの大沢たかおさん、長澤まさみさんの両名に参加いただき、ローンチイベントを東京・六本木において開催。



2 ローリーズファームが 年間プロモーションを展開

ローリーズファームは、女の子が女の子であり続けるために必要な、“カッコイイ”や“カワイイ”を提供し続けるブランドに成長することを目指し、年間プロモーション「MADE IN LOWRYS FARM」を展開しています。2014年4月から5月に実施した「THE HAPPY CAMPAIGN」では、「もしローリーズファームがホームパーティーを開催したら…?」というコンセプトのイベントに、お客様をご招待。『お家』に見立てた会場内で、音楽ライブやファッションショーなどをお楽しみいただきました。また、8月には東京・渋谷で、ローリーズファームがプロデュースする1室限りのコンセプトルーム「BEARS HOTEL(ベアーズホテル)」を期間限定でオープン。大変ご好評をいただいたことから、宿泊期限を1ヶ月延長することも決定しています。同時に、渋谷で話題となっている飲食店など7店でオリジナルメニューを提供するコラボレーション企画を展開するなど、様々なイベントを通じてお客様とのつながりを深めています。



「BEARS HOTEL」室内

3 ニコアンド、スタジオクリップ TVCMで認知度がさらに向上

ニコアンドとスタジオクリップは、昨年にも続き、2014年春もTVCMを放映しました。ニコアンドは新進気鋭の女優として注目を集める門脇麦さんと、「MEN'S NON-NO」専属モデル坂口健太郎さんを起用。新生活を意識した爽やかな演技で、同期共鳴する気持ちをHAPPYに描きました。また、スタジオクリップでも昨年から継続して貫地谷しほりさんを起用し、春のレジャーシーズンを意識した、心温まる気持ちのいい印象的なシーンを切り取りました。



統合効果による収益性の改善が次なる課題に

業績

売上高はトリニティアーツの新規連結に伴い増収、利益面では国内外での売上総利益率の低下、販管費率の上昇により減益となりました。

売上高は、トリニティアーツを新規連結したことに伴い、880億51百万円(前年同期比38.1%増)となりました。ブランド別では、グローバルワーク、レプシムローリーズファーム、スタディオクリップが好調に推移しました。利益面では、円安による原価の上昇や海外事業の不振などによる売上総利益率の低下、経営統合に伴うのれん償却額の計上や積極的な広告宣伝の展開などによる販管費率の上昇により、営業利益率は2.3%(前年同期比3.6ポイント減)となりました。

財務

引き続き安定かつ健全な財務体質を維持しています。

総資産は、出店により敷金及び保証金が増加したこと等の要因で、前期末比42億70百万円増加しました。負債は、前期末比41億53百万円増加し、純資産は1億17百万円増加しました。自己資本比率は54.0%と、引き続き健全な水準を維持しています。

通期

次期中期経営計画につながる諸施策を推進してまいります。

【ブランド戦略】

・ブランドの役割・目指すべき方向性を確認し、役割に応じたメリハリのある投資配分を行います。

【海外戦略の再構築】

・2016年2月期の黒字化を目指し、出店戦略の見直しや海外別注商品比率の見直しを進めます。

【商品・ビジネスモデルの差別化】

・自社生産機能の進化を図るとともに、バリューチェーンの整備完了を目指します。

【グループシナジーの追求】

・2015年3月にアダストリアホールディングス、ポイント、トリニティアーツの統合を決定。2014年11月にWEBストアを統合し、[.st](ドットエステー)としてサイトをリニューアルします。

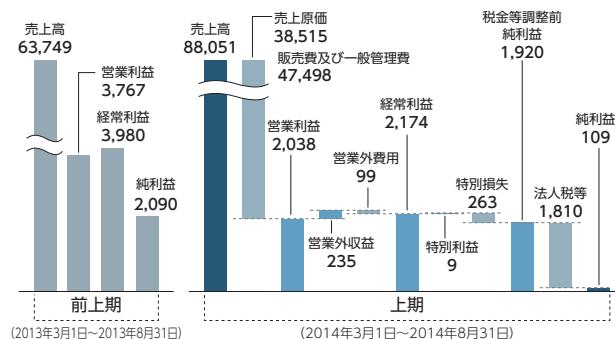
詳しい決算情報については

アダストリアホールディングス

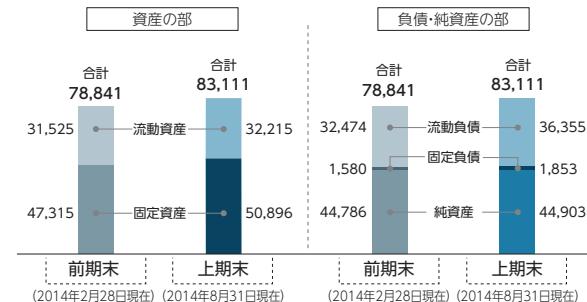
検索

<http://www.adastria.co.jp/>

連結損益内訳(単位:百万円)



連結貸借対照表の概要(単位:百万円)



	2015年2月期	上期実績	通期見通し	前期比
売上高		88,051百万円	185,900百万円	(21.3%増)
営業利益		2,038百万円	5,100百万円	(11.5%減)
経常利益		2,174百万円	5,100百万円	(15.4%減)
純利益		109百万円	700百万円	-

当社では、株主の皆様のご意見・ご要望をお聞きし、今後の事業活動に活かしたいと考え、第64期年次報告書をお送りした全ての株主の皆様を対象に葉書形式のアンケートを実施いたしました。

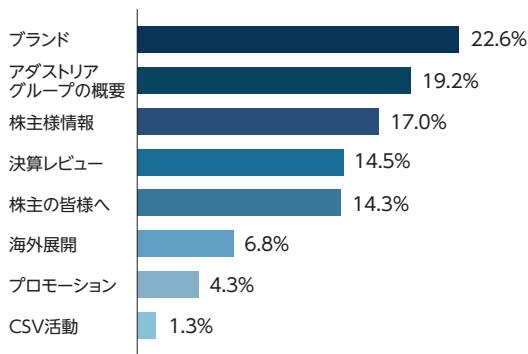
ご協力いただいた皆様にあらためてお礼申し上げますとともに、その結果の一部を以下のとおりご報告申し上げます。皆様からいただきました貴重なご意見やご要望を真摯に受け止め、今後の事業活動に活かしてまいりたいと考えておりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

調査概要

調査対象：全株主27,848名
 調査方法：第64回定時株主総会決議ご通知に同封
 (2014年5月23日発送)
 有効回答者数：2,340名(返送率:8.4%)

1 年次報告書で興味を持ったのは「ブランド」

■ 第64期年次報告書で興味をお持ちいただいた項目(複数回答)

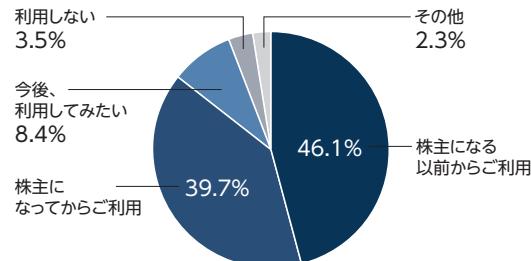


※母数は総回答件数(3,345件)

年次報告書について興味を持たれた項目については、「ブランド」(22.6%)、「アドストリアグループの概要」(19.2%)、「株主様情報」(17.0%)、「決算レビュー」(14.5%)となりました。今後もご要望の高い情報の発信に努めてまいります。

2 当社グループ店舗は8割以上がご利用

■ 当社グループ店舗のご利用状況



※母数は総回答件数(2,306件)

当社グループ店舗のご利用については、「株主になる以前からご利用」が46.1%、「株主になってからご利用」が39.7%と、8割以上の方がご利用いただいております。今後も、株主様としても、お客様としてもご満足いただけるよう、事業に邁進してまいります。

経営報告会を開催し、経営方針や事業展開をご説明いたします。

毎年恒例となっております経営報告会を、本年も東京と大阪で開催いたします。昨年は多数の株主様のご参加をいただき、貴重なご意見をうかがうことができました。当社は、この経営報告会を、株主の皆様との交流を図る貴重な機会と考えております。

どちらの会場も週末の開催となっておりますので、多数の方のご参加を心よりお待ちしております。

また、ご参加いただいた方には、粗品をご用意しております。

アドストリアホールディングス経営報告会

東京会場 日時：2014年11月22日(土)11時～12時
 場所：ベルサール渋谷ファースト 2階

大阪会場 日時：2014年11月23日(日)11時～12時
 場所：梅田スカイビル タワーウエスト 3階 ステラホール

※受付開始はいずれも10時30分を予定しております。

※詳細は同封しておりますご案内状をご覧ください。

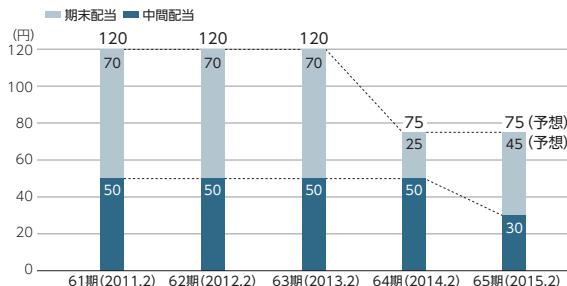
株主還元

株主様への還元について

当社は、株主の皆様への還元については、のれん償却前連結配当性向30%を目処としつつ、安定性も考慮して実施してまいります。

当期の中間配当金につきましては、1株当たり30円とさせていただきます。当期の期末配当予想は1株当たり45円ですので、年間配当金は75円(前期と同額)の予定です。

配当金の推移



株主優待制度のご案内

株主の皆様には、株主であると同時に当社ブランドのファンであってほしいという思いから、当社の株主優待制度は、商品引換券といたしております。当社株式をご所有の株主の皆様へ、下記内容にて全国の当社グループ店舗でご利用可能な商品引換券を贈呈させていただいております。(権利確定日:毎年2月末日)



所有株式数	商品引換券贈呈額
10株以上100株未満	2,000円
100株以上1,000株未満	5,000円
1,000株以上5,000株未満	10,000円
5,000株以上	20,000円

CSV活動

グループCSV方針

ファッションは世界を変える力をもっている

アダストリアグループは、国内・海外で約1,300店舗を展開しており、商品を製造現場からお客様の手にお届けするまでの様々な場面において、多くの人々や社会の支えを必要としています。アダストリアグループの成長には、健全な社会の存続が必要不可欠であり、本業に即した形で社会的課題を解決することにより、あらゆるステークホルダーにとっての価値を創造していく、すなわち『共通価値の創造=CSV (Creating Shared Value)』への取り組みが極めて重要だと考えます。

私たちアダストリアグループは、経営理念の実践と事業活動を通じて社会的課題を解決し、継続的で豊かな世界へと変えていくことを目指してまいります。

重点テーマ1 環境を守る



健全な企業活動を遂行するためには、地球環境の存続が必要です。従業員参加型の環境活動や太陽光発電システムによる電力提供、LED照明への切り替えなどの活動を通じて、地球の持続可能な発展に向けて、環境保全に繋がる活動を行っていきます。

重点テーマ2 人を輝かせる



継続的に企業が成長していくためには、従業員やお客様をはじめとする『人』の支えが必要です。ワークライフバランスの推進や中高生へのキャリア支援、障がい者の社会参加支援などの活動を通じて、多くの人々の未来への希望に繋がる活動を行っていきます。

重点テーマ3 地域に貢献する



商品を生産・販売するためには、国内外の地域との関わりが必要です。東日本大震災への継続的支援やペットボトルキャップのリサイクルによる途上国支援、創業の地・水戸への貢献などの活動を通じて、地域の継続的な発展と活性化のために、様々なかたちで支援活動を行っていきます。

CSVトピックス

1 東北の大地から生まれた コットンを使用した オリジナルTシャツで復興支援

グローバルワークとローリーズファームは、津波の被害を受けた農家を支援し、新たな産業を創出する「東北コットンプロジェクト」へ参画しています。今回、2013年に収穫されたコットンを使用してオリジナルTシャツを制作し、一部の店舗での販売を実施しました。この「東北コットンプロジェクト」は2011年7月に発足し、東日本大震災により被災された農家の方を中心に、アパレル企業など約80団体が共同で、農業の再生、雇用の創出、新産業の創造を目的として活動しています。当社は、本業を通じて社会に貢献し、継続的で豊かな世界へと変えていくことを目指します。



グローバルワーク
東北コットンオリジナルTシャツ

2 子どもたちへの職場体験・ キャリア教育プログラムを開催

ポイントでは、2009年より学生の職場体験、企業訪問の受け入れを継続的に実施しています。受け入れ依頼が年々増加し社会のニーズが高まっていることや、各年代に合わせたキャリア教育プログラムを設けるべきであるとの考えから、このたび既存のプログラム内容をさらに強化させて実施することとしました。

まず、小学生を対象に、特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクールとの共同企画として「ティーンズファッションプロジェクト」を、2014年3月と8月に開催しました。「社会で子どもを育てる」をコンセプト

に、最前線で活躍している社員が講師となり、「ファッションとは?」「デザイナーの仕事とは?」などファッション業界への興味を引き出すカリキュラムで構成、参加した子どもたちや保護者の方にも大変ご好評をいただきました。

一方、高校生を対象として、2014年8月にNPO法人主催の「マイチャレンジ・インターンシップ」に参画しました。参加した生徒たちは、「働くとはどういうことか」という動機づけの事前学習を受けた後、実際に店舗で実施する接客やレジ対応、ビジネスマナーなどのインターンシップに臨みました。事後学習では体験を整理し、自らのキャリア構築に対しどう活かしていくのか、学びを深めました。

今後もこれらの活動を通じ、将来を担う子どもたちのキャリア教育に取り組みます。



ティーンズファッションプロジェクト

3 「ママカレッジ～オープンキャンパス～」を スタディオクリップ ゆめタウン広島店で開催

2014年6月、スタディオクリップ ゆめタウン広島店において「ママカレッジ～オープンキャンパス～」を開催しました。

ママカレッジは、公益財団法人 日本財団が運営する「ママの笑顔を増やすプロジェクト」の一環として、様々な企業や団体などのパートナー・サポーターと協働する活動で、段階的に“働く”と“育てる”を考えるプログラムです。これまでに、東京、名古屋、群馬などでオープンキャンパスを行っています。

このたび、スタディオクリップ ゆめタウン広島店に併設する「TEA&BAKE」カフェを会場に、ファッション業界では初の試みとなるオープンキャンパスを開催し、広島の地域で子育てをするママ12名にご参加いただきました。参加されたママの皆様は、アップルパイと紅茶、ソフトクリームのセットを楽しみながら、ファンリテーター（世話人）と共に“働く”“育てる”をテーマに、子育てに関する不安や情報の意見交換を行いました。今後も、様々な取り組みを通して、ママをはじめとする、すべての女性に優しい社会を目指してまいります。



オープンキャンパスの様子

会社概要

名称	株式会社アダストリアホールディングス Aداstria Holdings Co., Ltd.
本部住所	東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウ サウスタワー 10F
電話番号	03-6895-6000
設立	1953年10月22日
資本金	2,660百万円
発行済株式総数	24,400千株
代表者	代表取締役会長 福田 三千男 代表取締役社長 遠藤 洋一
事業内容	衣料品・雑貨等の企画・製造・小売各事業を中心とした 企業グループの経営管理業務
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行 常陽銀行 みずほ銀行 三井住友銀行
社員数	正社員4,703名 (グループ合算)
店舗	国内：1,235店舗/海外：91店舗
物流拠点	国内：5拠点
生産拠点	海外：10拠点

取締役・監査役

代表取締役会長	福田 三千男
代表取締役社長	遠藤 洋一
取締役	宮本 英範
取締役	木村 治
取締役	倉重 英樹
取締役	松井 忠三
取締役	阿久津 聡
常勤監査役	廣田 滋
監査役	横山 哲郎
監査役	前川 渡
監査役	高橋 惇

*取締役のうち、倉重 英樹、松井 忠三、阿久津 聡は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

*監査役のうち、廣田 滋、横山 哲郎、前川 渡は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

グループ会社

■ 株式会社ポイント

婦人服、紳士服、子供服、雑貨等の企画・製造・販売

■ 株式会社トリニティアーツ

婦人服、紳士服、雑貨等の企画・製造・販売

■ 株式会社FRIENDS

「ミュベール」の企画・製造・販売

■ Aداstria Asia Co., Ltd.

グループの海外事業推進および香港におけるグループブランドの店舗運営と販売業務

■ 方針(上海)商貿有限公司

中国におけるグループブランドの店舗運営と販売業務

■ 波茵特股份有限公司

台湾におけるグループブランドの店舗運営と販売業務

■ ADASTRIA SINGAPORE PTE. LTD.

シンガポールにおけるグループブランドの店舗運営と販売業務

■ Aداstria Korea Co., Ltd.

韓国におけるグループブランドの店舗運営と販売業務

■ 株式会社N9&PG

物流業務およびアパレル製品・雑貨の企画・製造・輸出入

■ 株式会社アダストリア・ゼネラルサポート

グループ各社への総合サービス提供

グループ会社トピックス 株式会社アダストリア・ゼネラルサポート

アダストリア・ゼネラルサポートは、2013年12月、グループの障がい者雇用の促進と、グループ企業に対する総合サポート機能を提供することを目的に設立されました。ポイントの水戸事務センター、山形事務センター、トリニティアーツの高崎事務センター、高崎返品センター、福岡事務センターがひとつになることで、各事業子会社の間接業務の集約化、合理化を図るとともに、障がい者が安心して働くことのできる人事制度の整備を進めています。2014年5月には、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づく特例子会社^(注)の認定を受け、今後もより一層の障がい者が活躍できる環境づくりに努め、企業としての社会的責任の遂行を図ってまいります。

(注)特例子会社とは、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づいて障がい者の雇用の促進と安定を目的に設立された子会社です。この度の認定により、当社グループでは、当該子会社で雇用された障がい者をグループ全体の雇用率に算入することが認められます。

株式の状況

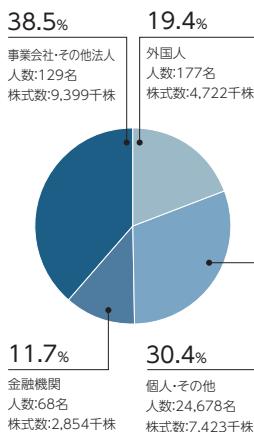
発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	24,400,000株
株主数	25,052名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社フクゾウ	6,619	27.3
ゴールドマンサックスインターナショナル	1,166	4.8
豊島株式会社名古屋本社	1,000	4.1
ピーピーエイチ ファイデリティ ビューリタン ファイデリティ シリーズ インタリシツク オポチユニティズ ファンド	750	3.1
福田 三千男	719	3.0
株式会社テツカンパニー	644	2.7
ピーピーエイチ フォー ファイデリティ ロー プライズド ストック ファンド(プリンシパル オールセクター サポートアリオ)	616	2.5
株式会社良品計画	554	2.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	531	2.2
塩見 鉄弥	469	1.9

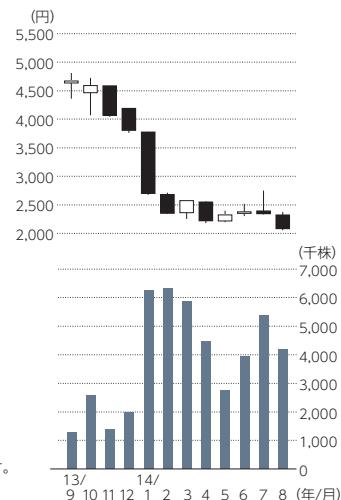
※持株比率は自己株式(118,328株)を控除して計算しております。

所有者別株式数分布状況



※金融機関には金融商品取引業者を含みます。
※個人・その他には自己株式を含みます。

株価・売買高の推移



株主メモ

事業年度	3月1日～翌年2月末日
期末配当金受領株主確定日	2月末日
中間配当金受領株主確定日	8月31日
定時株主総会	毎年5月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	同上
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.adastria.co.jp/ir/koukoku/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

詳細な財務データはホームページにも掲載しておりますのでご利用ください。

当社のホームページでは、企業情報、ニュース、株主・投資家情報など、当社および当社グループに関する各種情報を公開しています。特に、株主の皆様、投資家の皆様へのきめ細かな情報提供を目指し、IRニュースや売上速報などの迅速な情報開示や、動画による説明会の模様の配信など多彩なコンテンツをそろえておりますので、是非ご利用ください。



<http://www.adastria.co.jp/>